
新型コロナウイルス感染症 罹患後症状(後遺症)実態調査に関する報告

山形県健康福祉部
コロナ収束総合企画課

令和4年6月

調査の概要について

1 目 的

県内の新型コロナウイルス感染症の罹患後症状（いわゆる後遺症）を訴える患者の実態を把握し、相談・診療体制の整備の検討につなげるとともに、今後の新型コロナウイルス感染症対策の参考とするもの

2 調査対象

県内 6 5 5 医療機関

（一般診療所：632診療所、重点医療機関・協力医療機関：23病院）

3 調査期間

令和4年4月18日～5月30日

4 調査方法

インターネットの県のアンケートフォームまたは電子メールにより回答

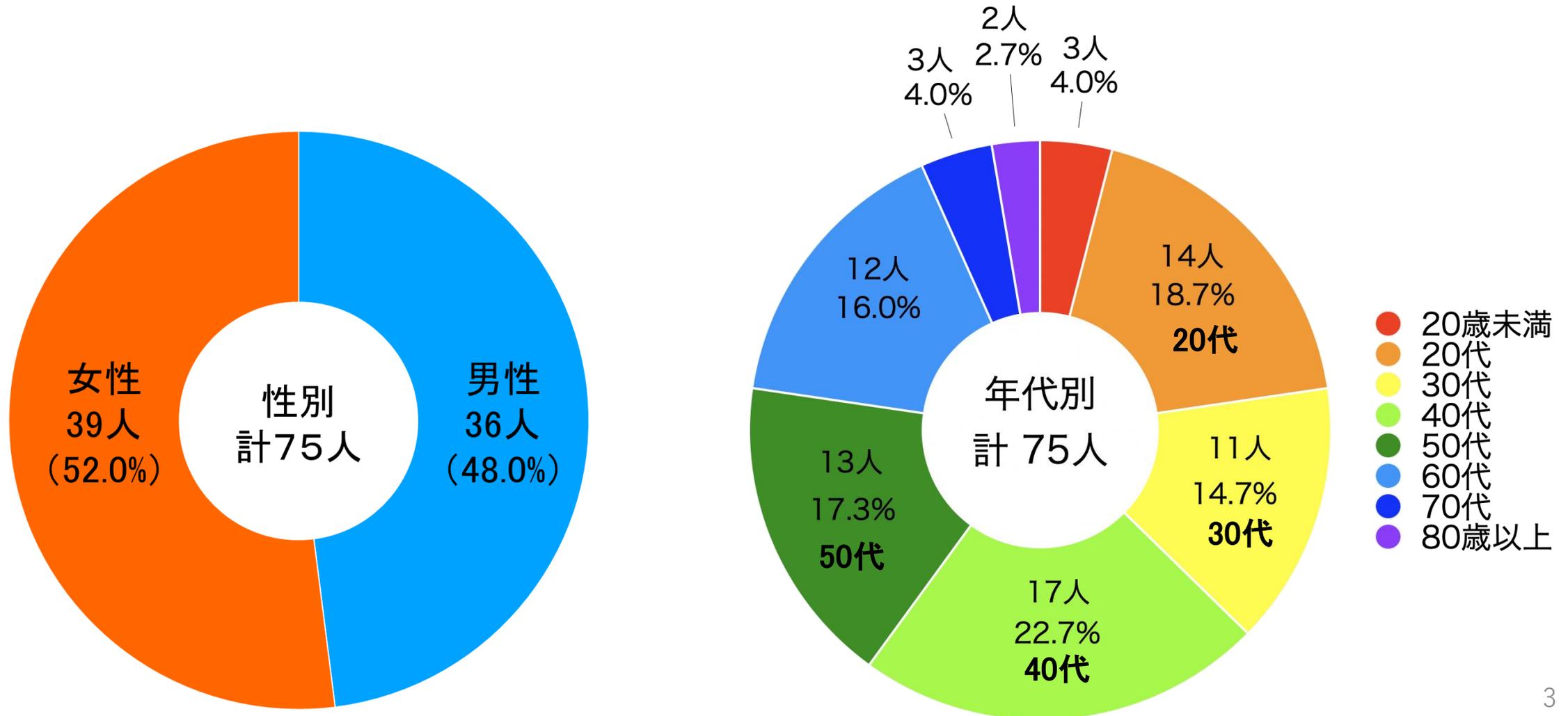
5 回 答

回答医療機関 8 9 件（66診療所、23病院）

症例報告 7 5 人（16医療機関で症例有）

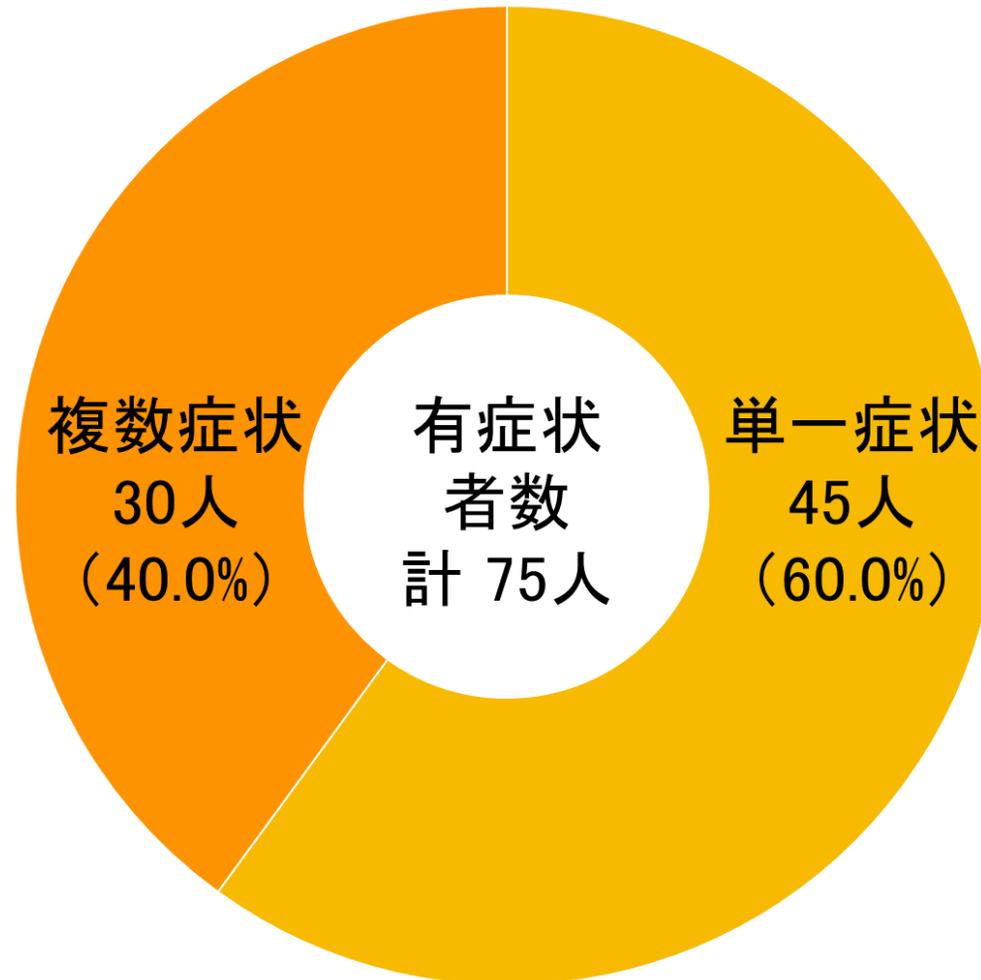
1 性別、年代について

- ・患者数は75人で、患者の性別には大きな偏りは見られない。
- ・年代別では、40代が一番多く、また、20代から50代の現役世代が73%を占めている。



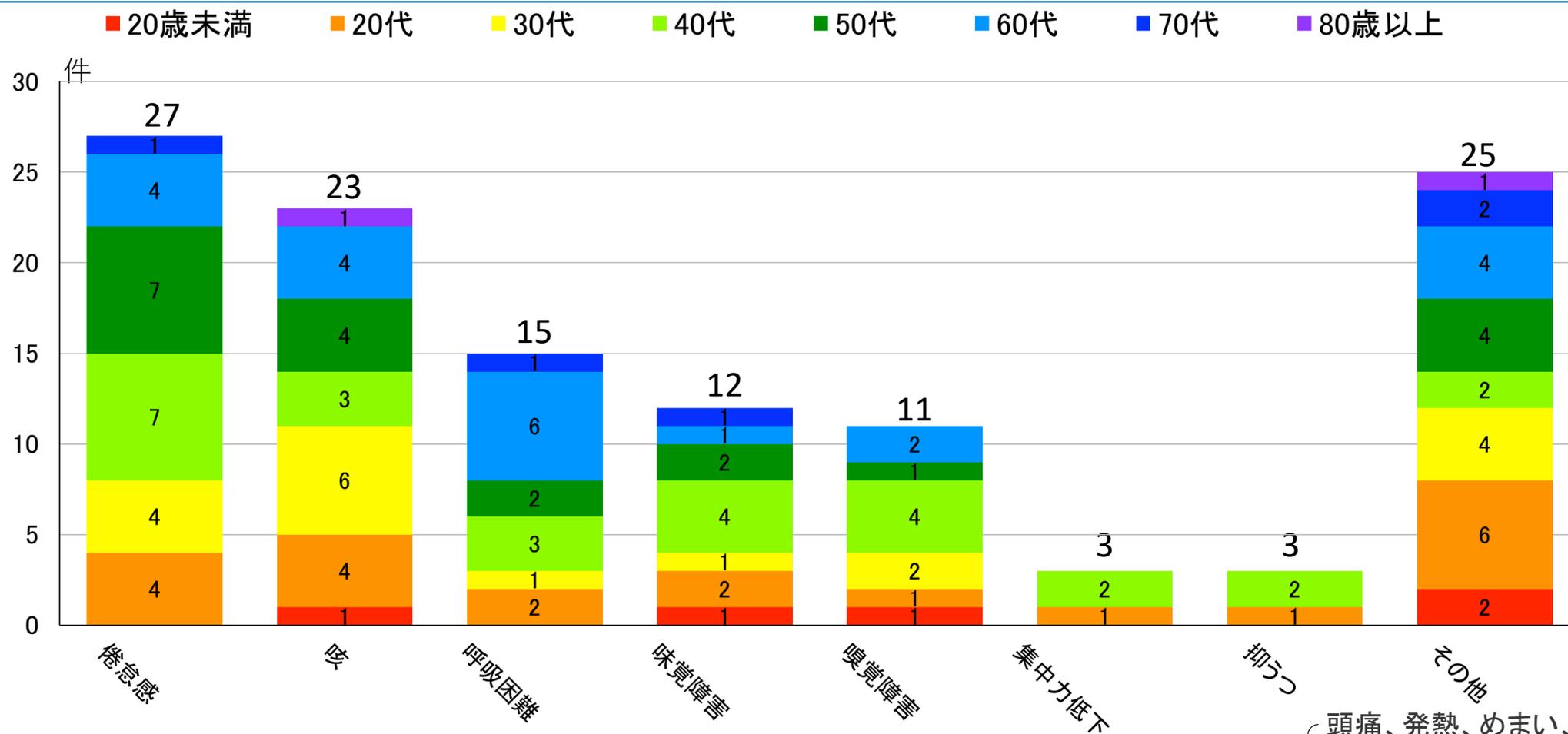
2 罹患後の症状について①

- ・患者一人の症状は、単一症状の方が60%であり、また、複数症状の方が40%である。



2 罹患後の症状について②

- ・倦怠感が27件と一番多く、次に咳23件、呼吸困難15件となっている（複数回答あり）。
- ・「その他」に分類されている症状も25件と多く、罹患後症状は多岐に渡っている。



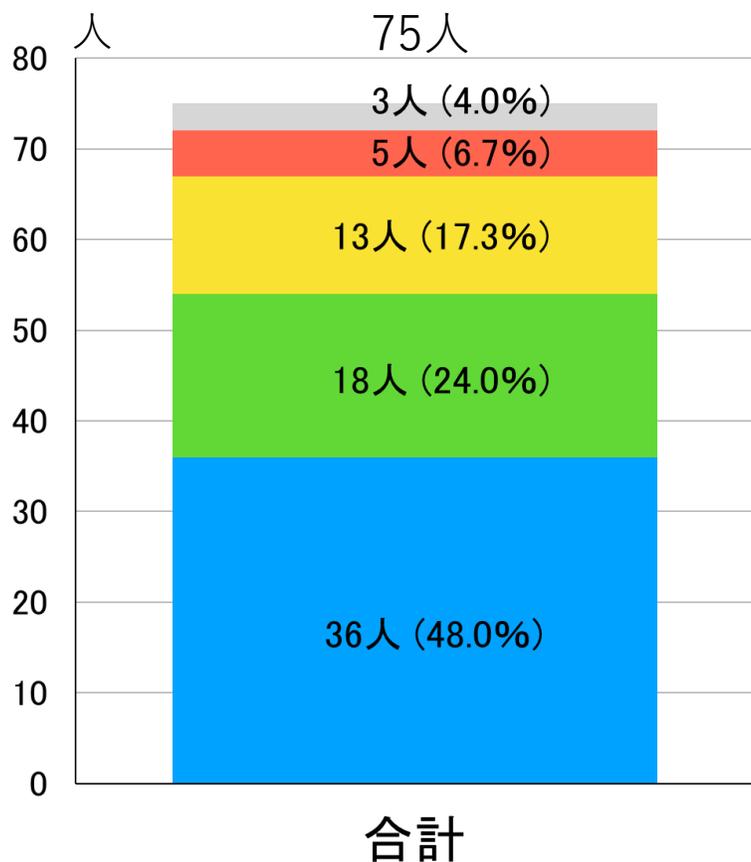
頭痛、発熱、めまい、咽頭痛、痰、脱毛、関節痛、筋肉痛など

※ 1人の患者が複数の症状をもっていることから、患者75人に対し症状は計119件(以下同じ)。

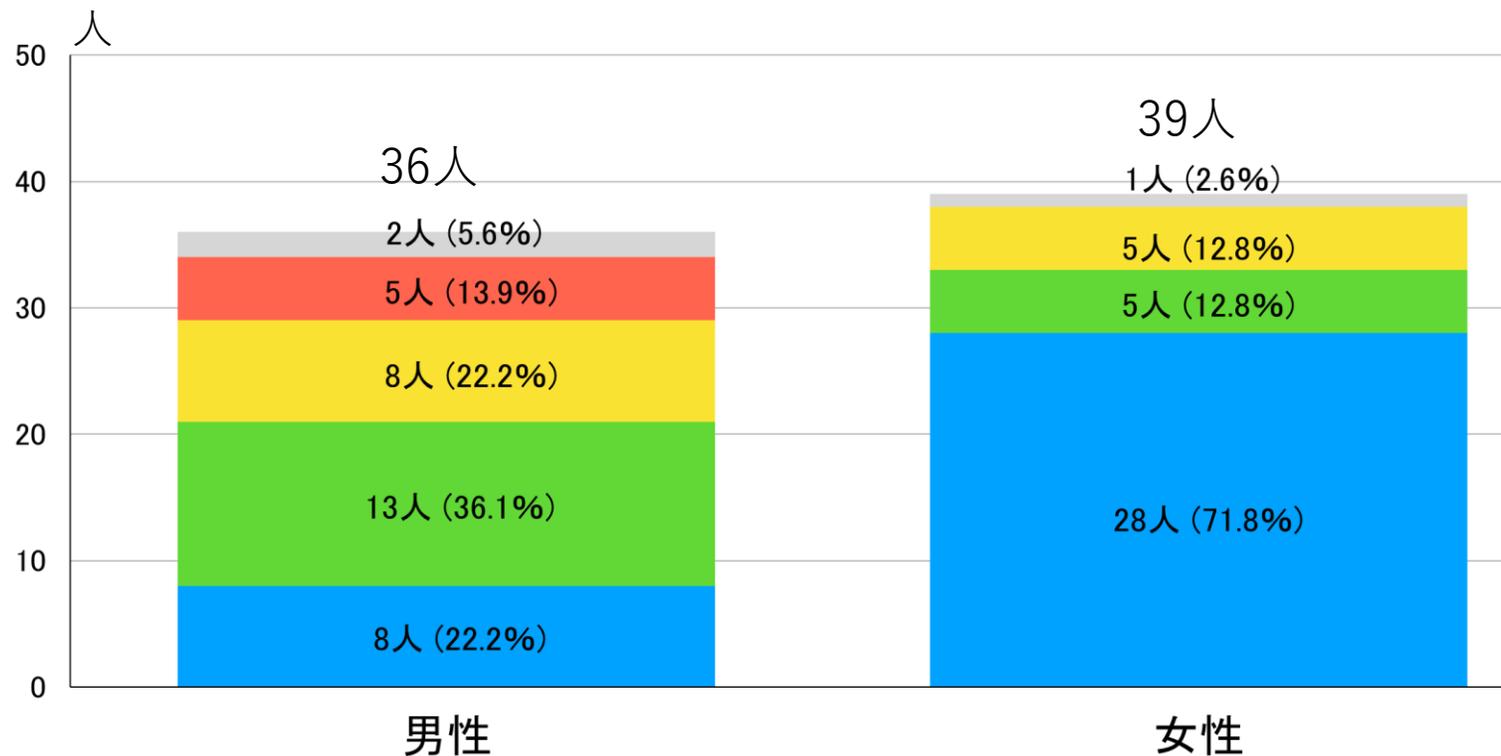
3 コロナ罹患時の症状の程度について

- ・ コロナ罹患時に軽症であっても罹患後症状が発生している。
- ・ 特に女性は、39人のうち71%の28人が軽症であった。

■ 軽症 ■ 中等症 I ■ 中等症 II ■ 重症 ■ 不明

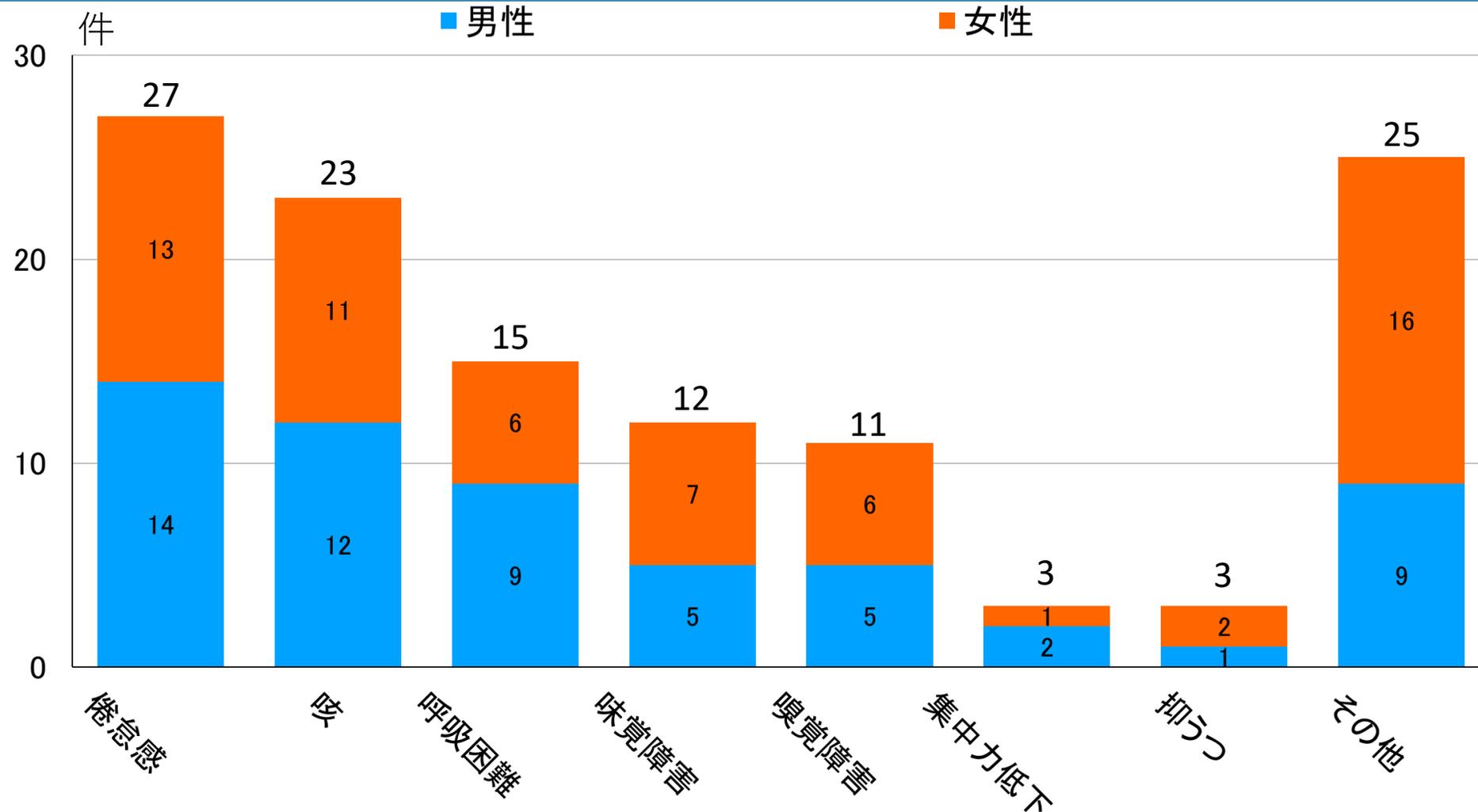


■ 軽症 ■ 中等症 I ■ 中等症 II ■ 重症 ■ 不明



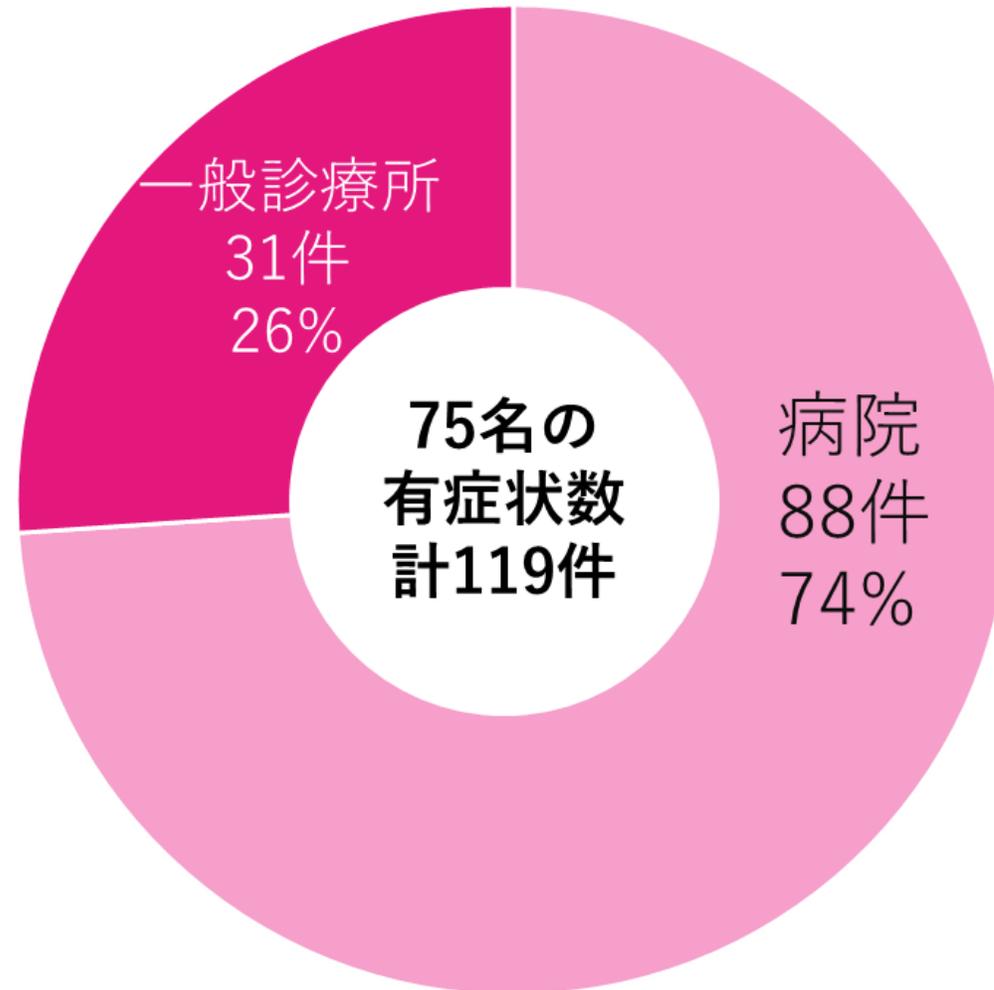
4 性別による症状について

- 性別による症状の大きな違いはなかった。「その他」の症状について、女性は、頭痛、発熱などの症状が多かった。



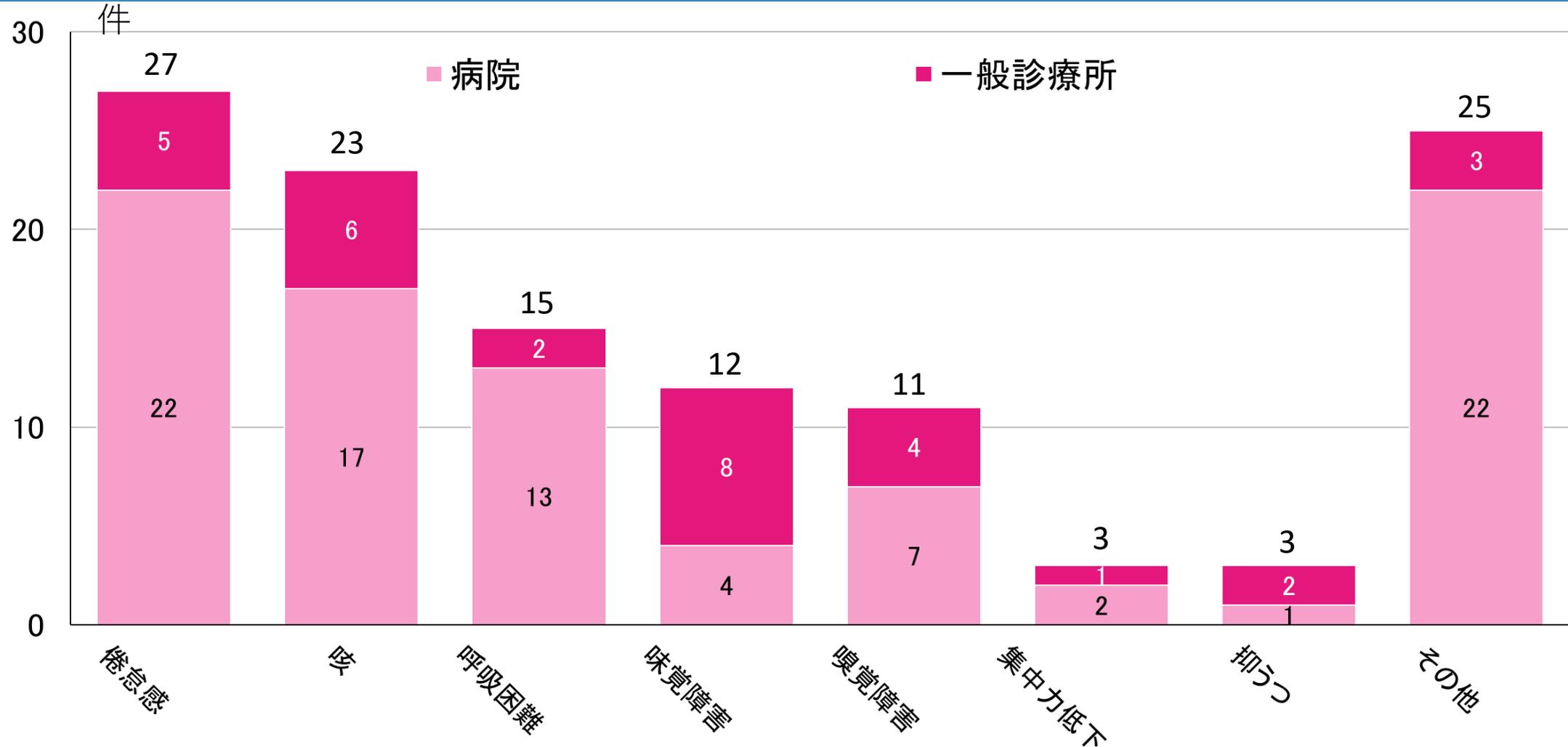
5 医療機関別の診療状況について①

- ・ 病院が74%の症例を、一般診療所が26%の症例を診療している。



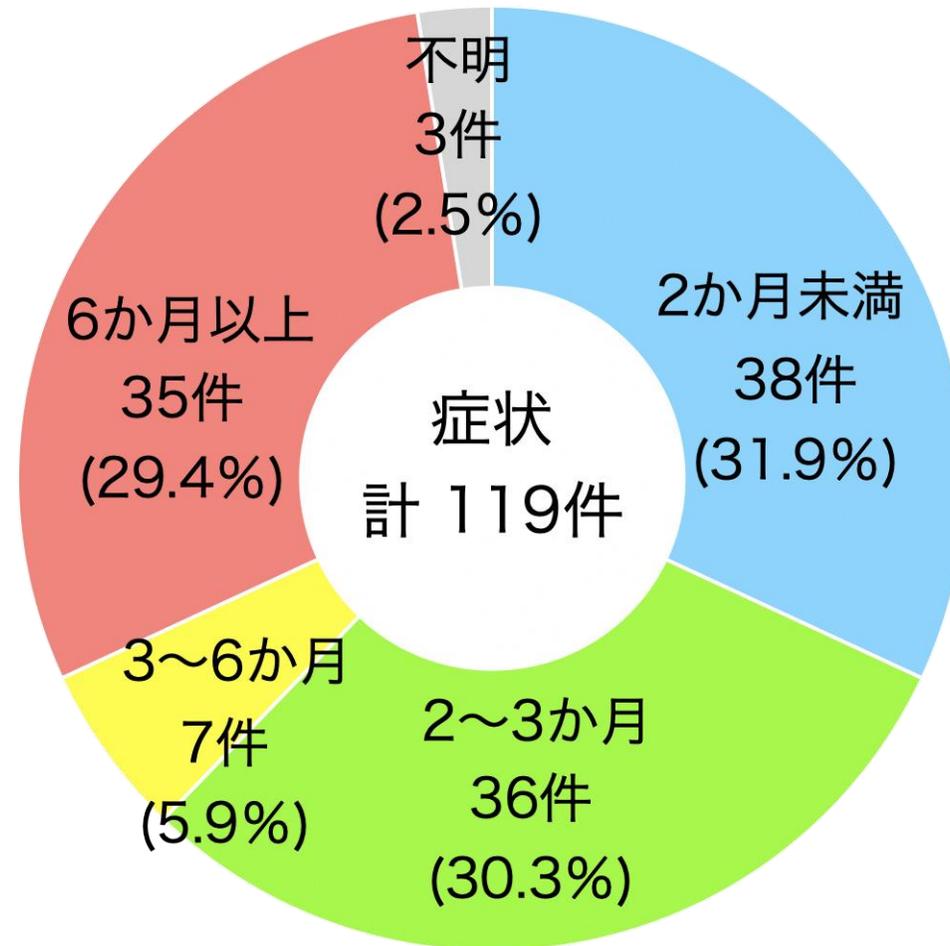
5 医療機関別の診療状況について②

- ・症状別の受診医療機関をみると病院の診療件数が多いが、味覚障害、抑うつは、一般診療所が病院より診療件数が多い。



6 罹患後症状の継続期間について①

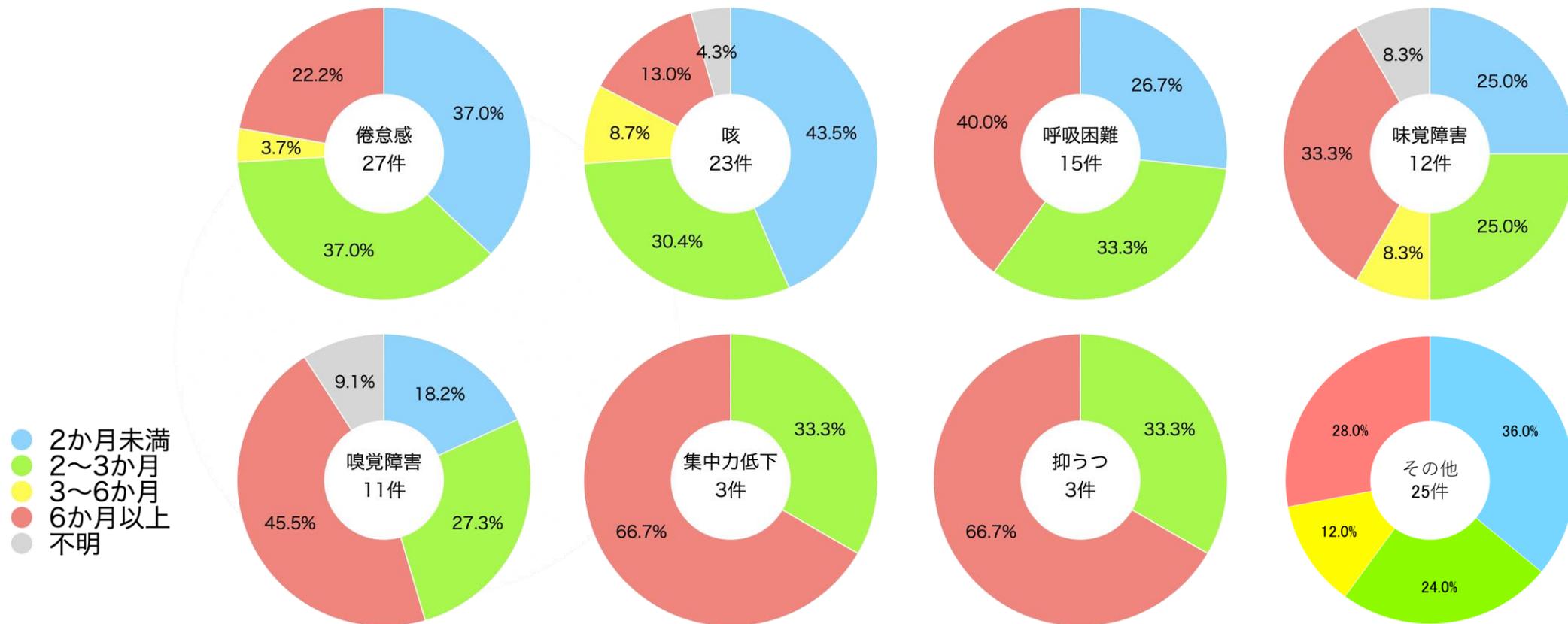
- ・ 継続期間は3か月以内が62%となる一方で、6か月以上継続している方も29%いる。



※症例の報告があった患者については、罹患後症状が回復した方（45人）、治療継続中（30人）の方がいる（以下同じ）。

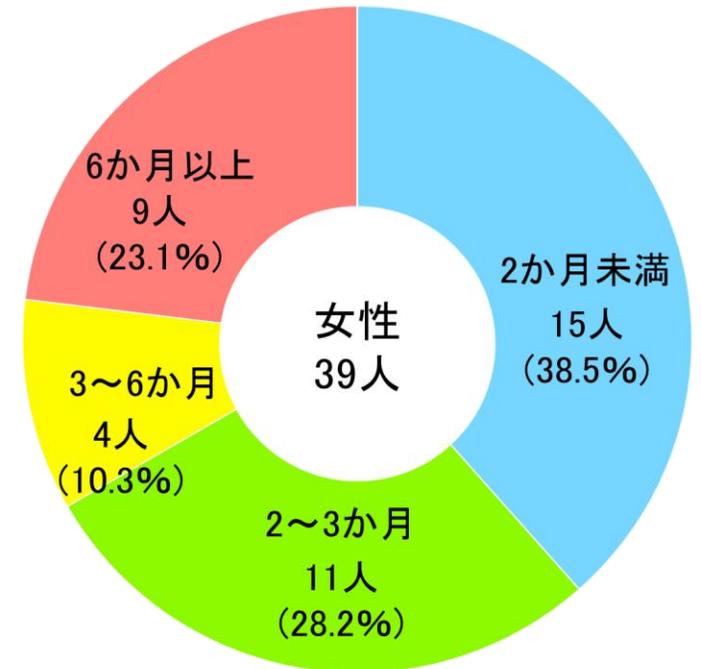
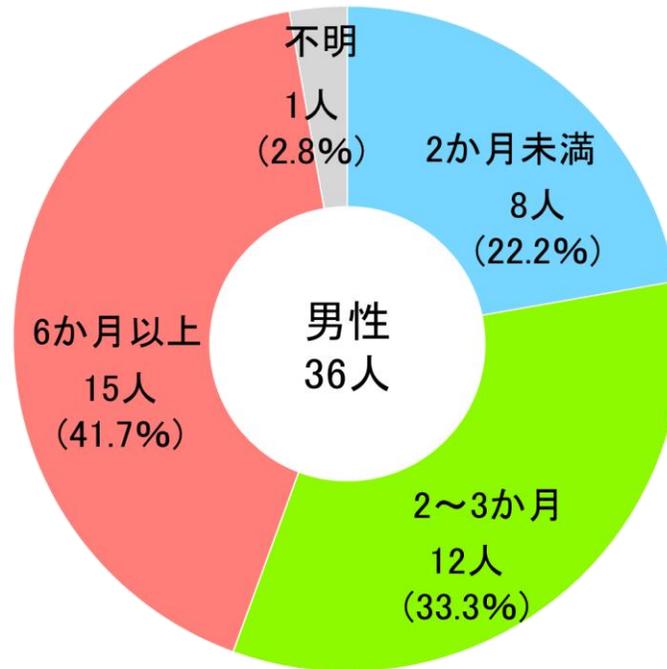
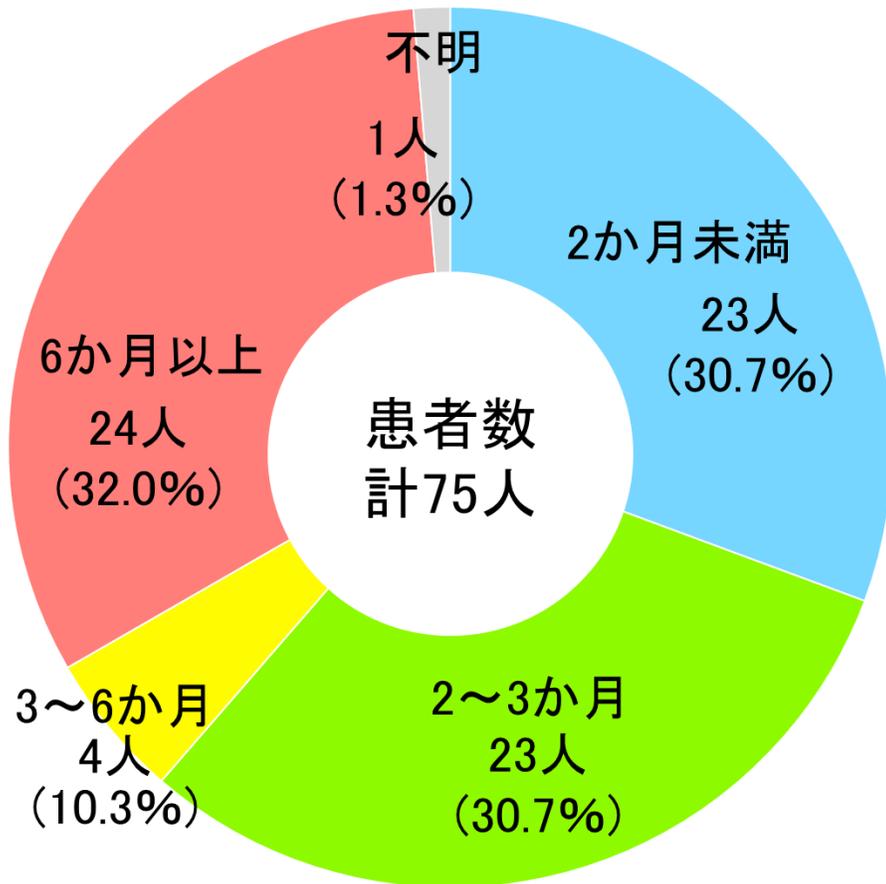
6 罹患後症状の継続期間について②

- ・症状別にみると倦怠感、咳の継続期間は、半数以上が3か月以内となっている。
- ・呼吸困難、味覚障害、嗅覚障害は、6か月以上続いている人の割合が他症状より高い。



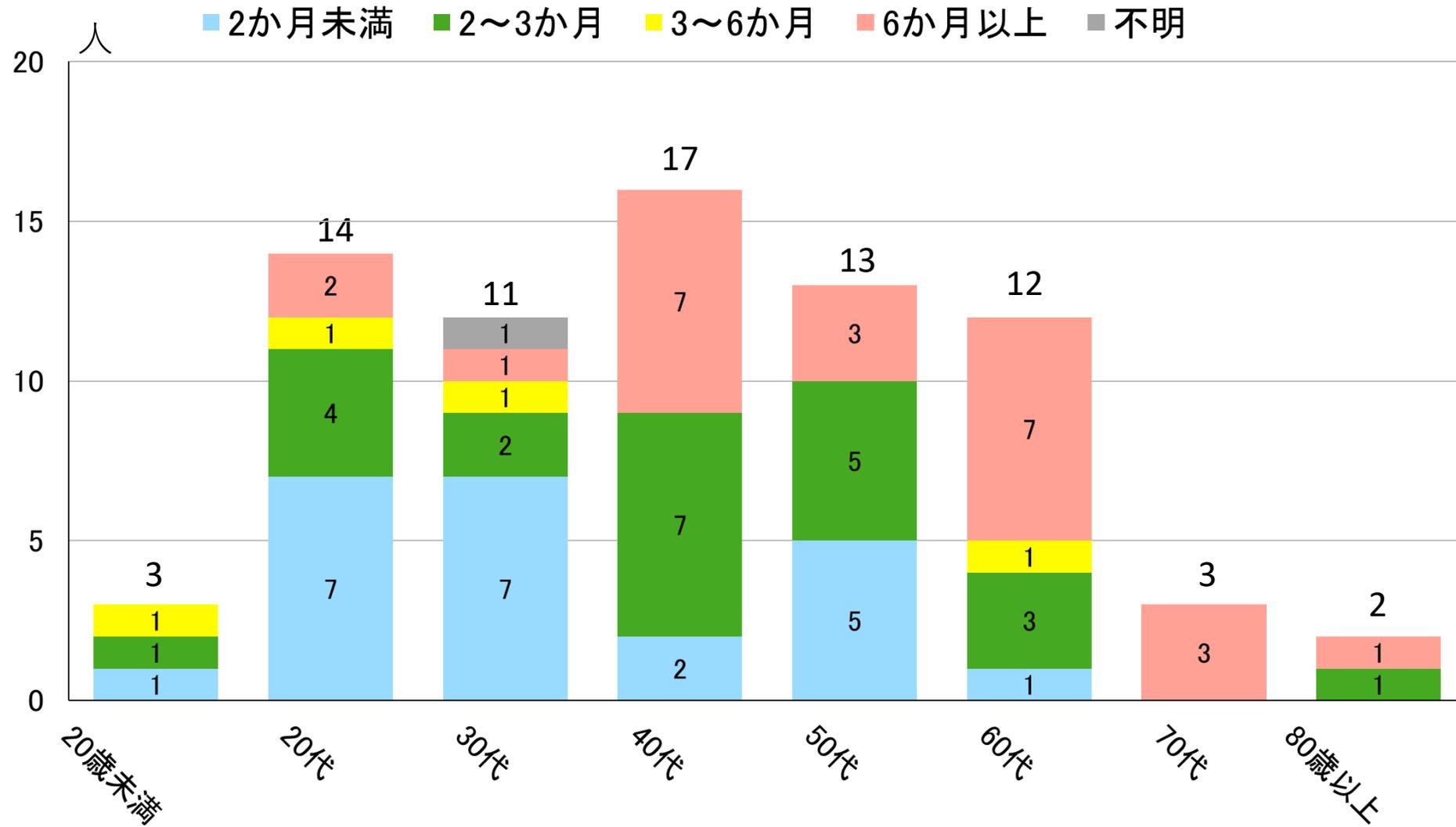
7 性別ごとの罹患後症状の継続期間について

- ・患者75人のうち32%となる24人は、6か月以上症状が継続している。
- ・女性は男性より罹患後症状の継続期間が短い傾向にある。



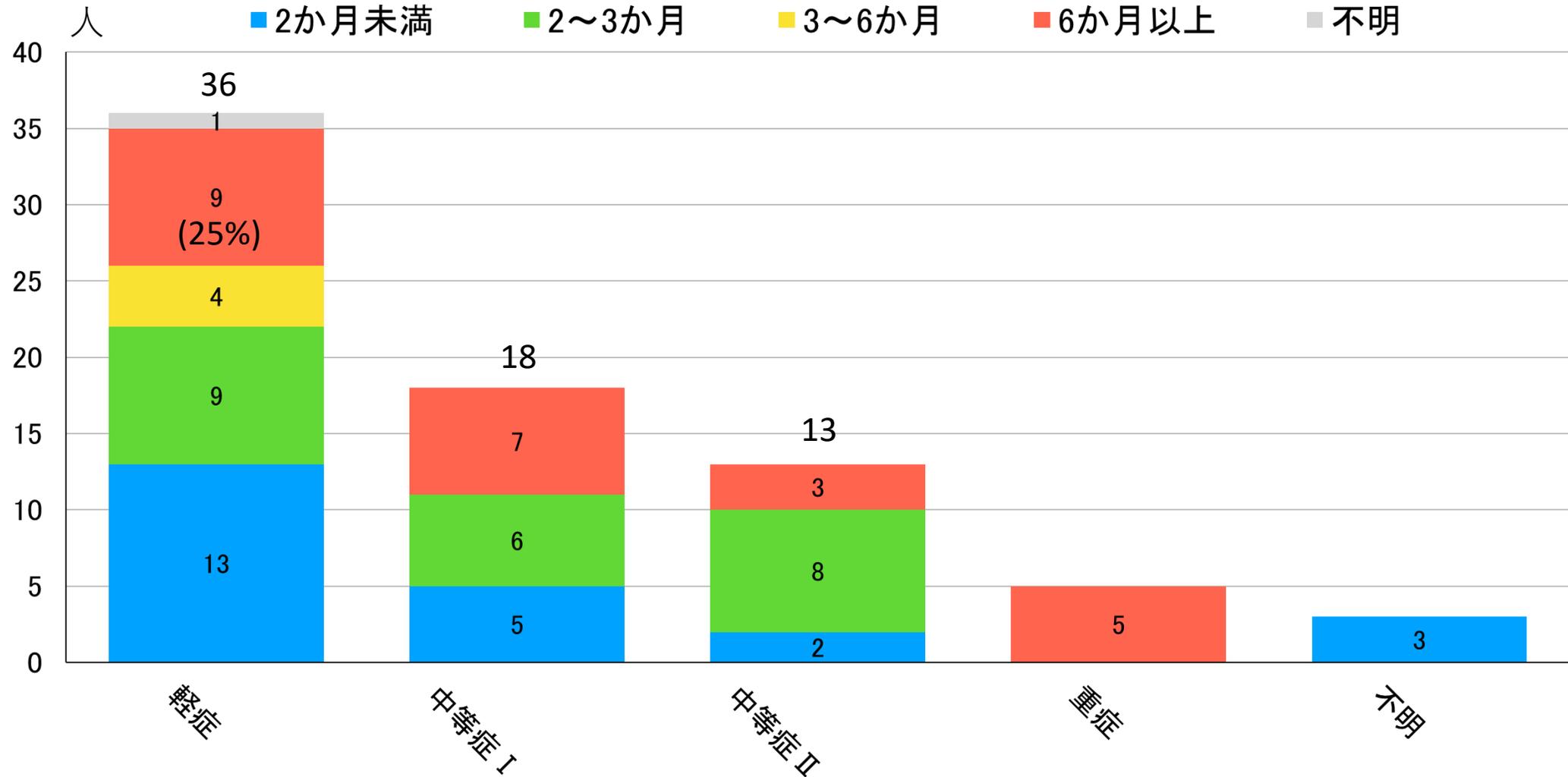
8年代別の罹患後症状の継続期間について

- ・ 20代、30代は、2か月未満が多く、60代は6か月以上継続している方が多い。



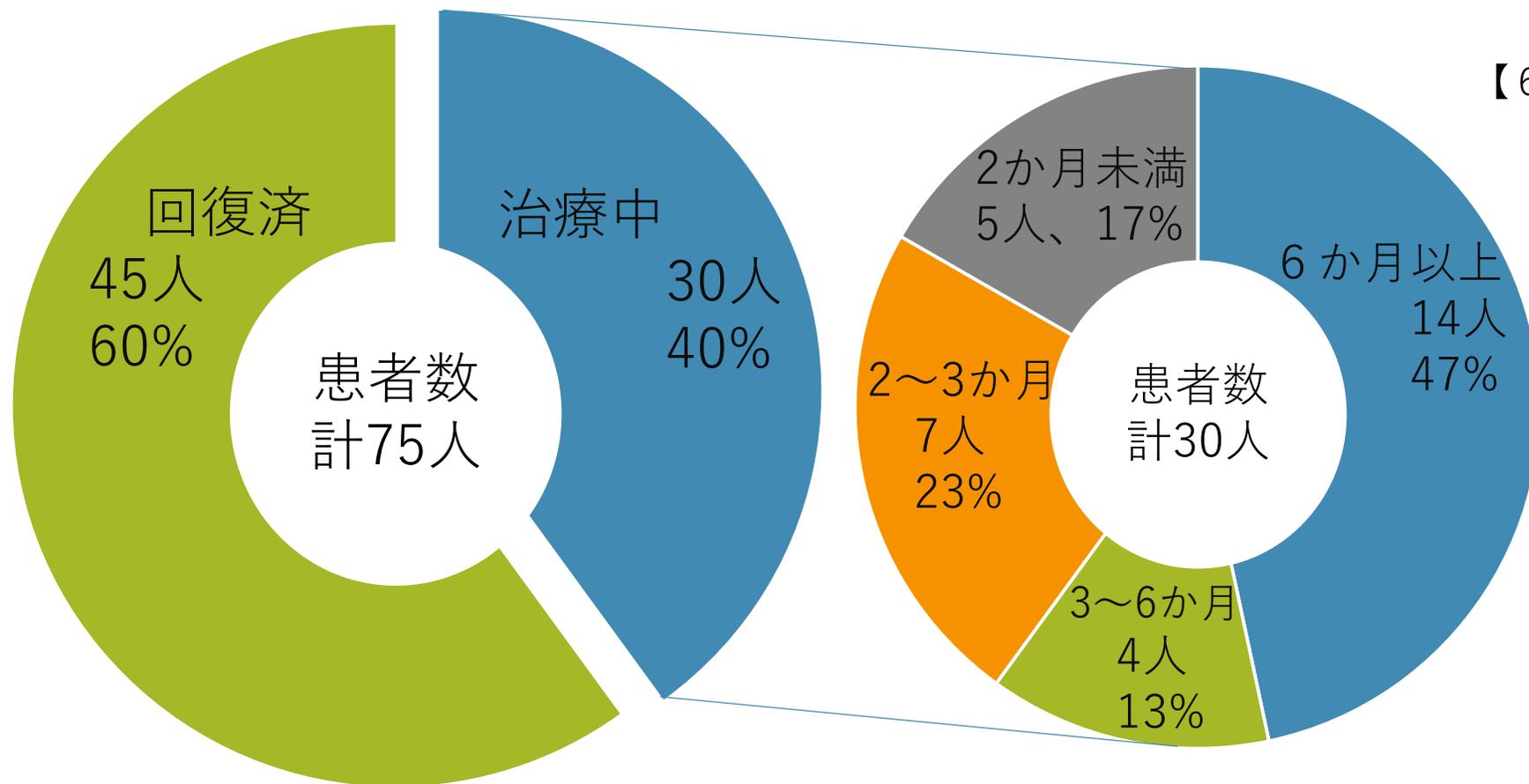
9 感染時の症状と症状継続期間について

- ・ 軽症者36人のうち25%となる9人は6か月以上症状が継続している。
- ・ 重症者5人は、全員6か月以上症状が継続している。



10 治療中の患者について

- ・ 現在も治療中の患者は、75人のうち30人であり、そのうち14人が6か月以上症状が継続している。
- ・ 6か月以上症状が続いている方では、味覚障害、嗅覚障害、呼吸困難が多い。

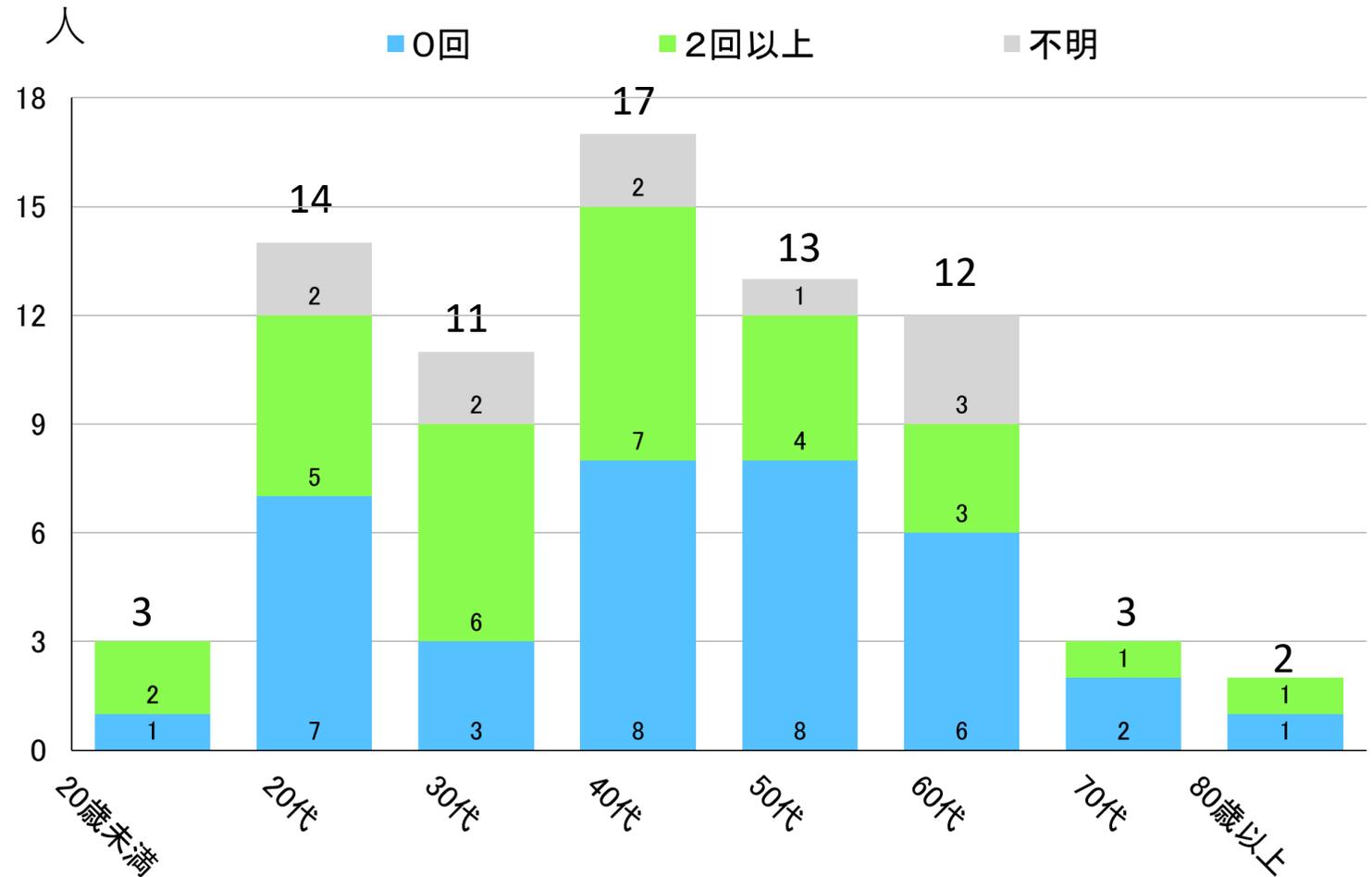
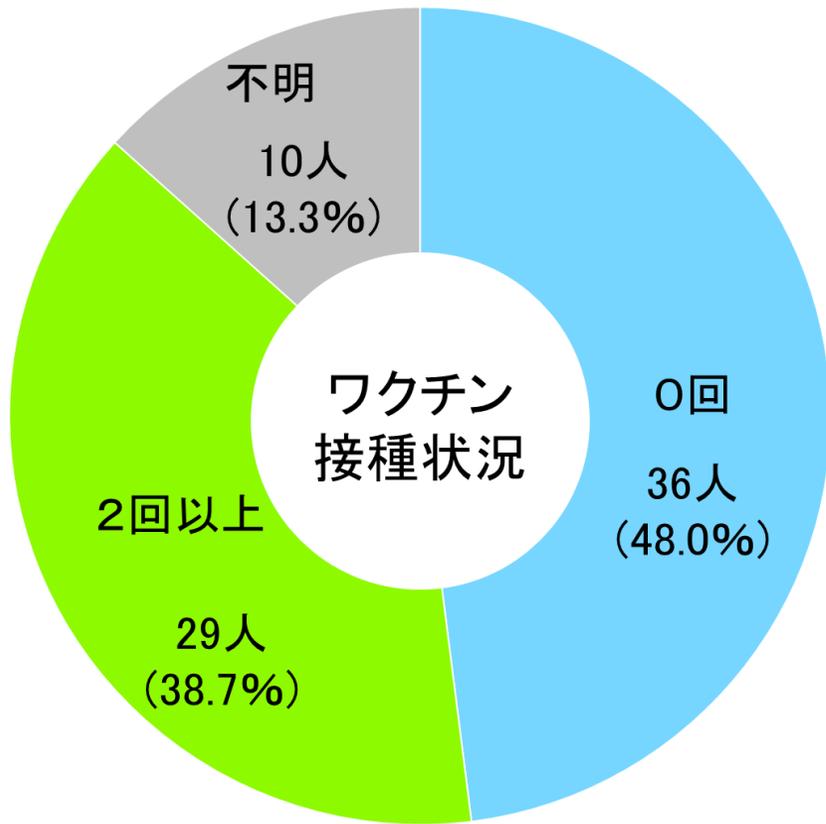


【6か月以上症状が継続している方の症状】

症 状	件 数
味覚障害	4件
嗅覚障害	4件
呼吸困難	3件
倦怠感	2件
集中力低下	2件
その他	6件

11 ワクチン接種と年代について

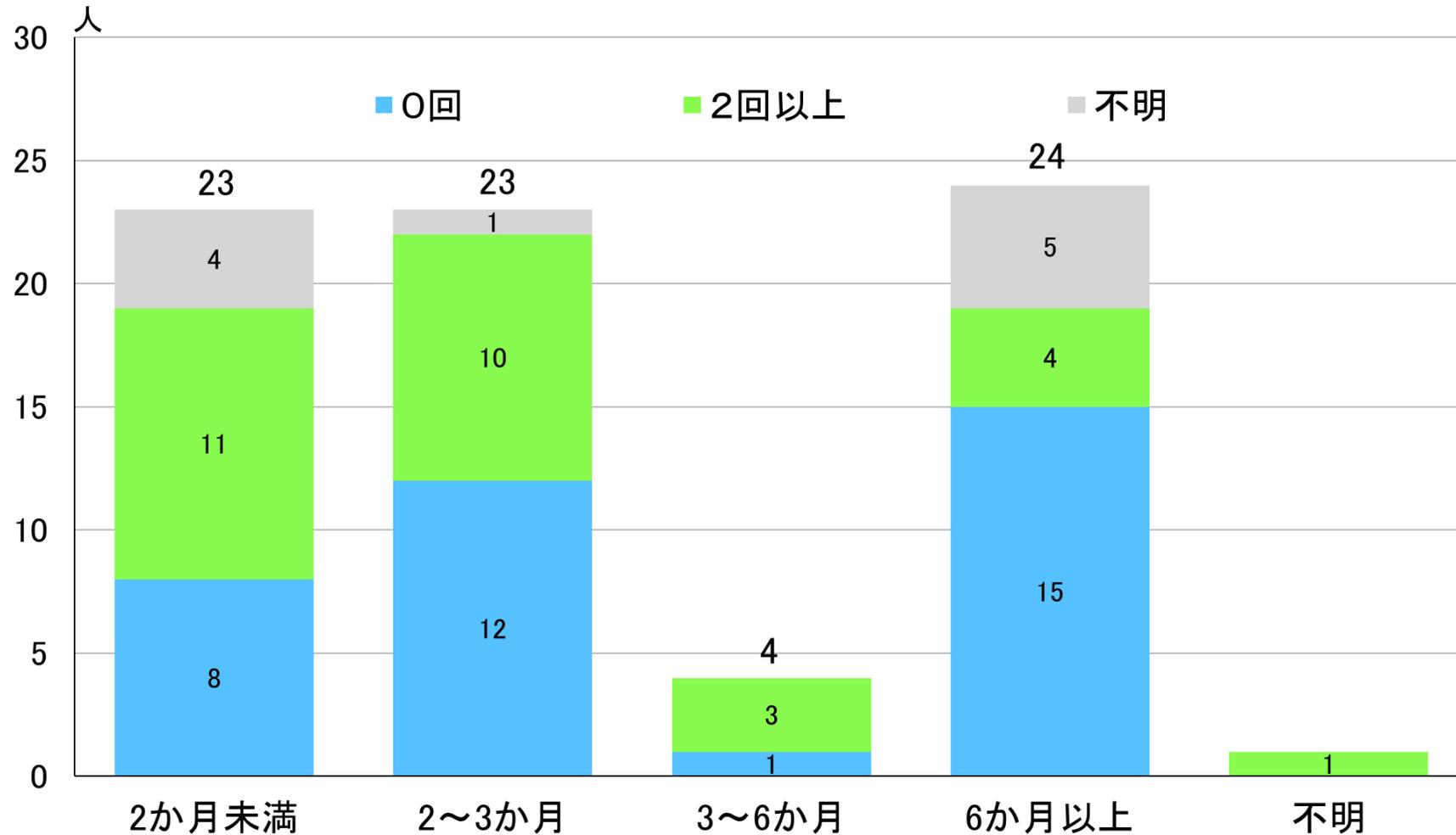
- ・ ワクチンを接種していない方の罹患後症状の発生が48%と一番多かった。
- ・ また、年代別には20代、40代～70代は、ワクチン接種していない方の症状発生が多い。



※ 1回接種のみの方はいなかった。

12 ワクチン接種と症状継続期間について

- ・ 6か月以上症状が継続している方では、ワクチン未接種の方が15人と多い。



調査結果について

- 罹患後症状を有する患者の性別には、大きな偏りが見られない。年代別では、**40代が23%と一番多く、また、現役世代となる20代から50代が73%となっている。**
- 複数の症状を有する方は、全体の40%を占めている。**症状別では、「倦怠感」が27件と一番多く、次に「咳」が23件、「呼吸困難」が15件となっている。**また、「その他」も25件と多く、症状は多岐に渡っている。
- コロナ感染症**罹患時の症状の程度（軽症・中等症・重症）にかかわらず、罹患後症状が発生している。**女性は罹患時に軽症でも罹患後症状が生じている方が多かった。
- 症状の継続期間について、**全体の29%が6か月以上罹患後症状が継続している。**
- 罹患後症状を有する方のうち、**約半数がワクチンを接種していなかった。**

【参考】新型コロナウイルスによる罹患後症状とは

新型コロナウイルスに罹患した人に見られ、少なくとも2か月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの。症状には、倦怠感、息切れ、思考力や記憶への影響などがある。

(厚生労働省 新型コロナウイルス感染症診療の手引き (別冊 罹患後症状のマネジメントより))